

新型コロナウイルスの 感染を予防する消毒方法



松前町新型コロナウイルス感染症対策本部
(役場健康推進課 ☎42-2650)

新型コロナウイルスは「^{ひまつ}接触」か「飛沫」により感染します。
したがって、感染予防のためには、次の2つの対策が重要なポイントとなります。

- ① ウイルスを含む飛沫が目・鼻・口の粘膜と接触するのを防ぐ
- ② ウイルスの付着した手が、目・鼻・口の粘膜と接触するのを防ぐ

手指の消毒には消毒用アルコールをしますが、身の周りの物の表面の消毒には、多くのご家庭にもある塩素系漂白剤が有効です。

よく触る場所を、希釈した(薄めた)塩素系漂白剤で拭き取って消毒しましょう。

消毒用アルコールは、現在入手困難ですが、塩素系漂白剤は比較的安価で入手可能です。

ウイルスの除菌に使用できる消毒剤

手 指：消毒用アルコール(濃度70%以上)

物の表面：塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム原液濃度約5~6%)

※次亜塩素酸ナトリウムを含む商品例としては、ハイター、ブリーチ、ピューラックス等があります。(必ず使用方法や使用上の注意をよくご確認ください。)

※塩素系漂白剤は用途に応じて、下記の表を参考に希釈して使用してください。
消毒液の作り置きは効果が弱まるので、その都度消毒液を作り、すぐに使い切ることをおすすめします。(皮ふを痛めるので、手指の消毒には使用できません。)

塩素系漂白剤の希釈方法(薄め方)

用 途	濃 度	希 釈 方 法
ドアノブ・手すり等	0.05%	500mlの水道水に塩素系漂白剤を 5ml(ペットボトルのキャップ1杯分)を入れる
吐しゃ物が付着した床等	0.10%	500mlの水道水に塩素系漂白剤を 10ml(ペットボトルのキャップ2杯分)を入れる

1 準備

- ・ 日ごろの整理整頓、ゴミやホコリを取る清掃がまず必要です。
- ・ **換気しながら**行いましょう。
- ・ 塩素系漂白剤を吸い込んだり、直接手指についたりすることを防ぐため、**マスクや手袋を着用**しましょう。
- ・ 使用後のペーパータオル等を捨てるためのビニール袋を準備しましょう。
- ・ 正しく希釈した消毒液を作ります。

2 消毒方法

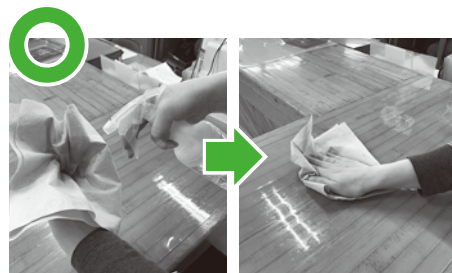
消毒液を十分に含ませてしぼったペーパータオル等で、消毒する場所を拭き取った後（一方向に拭く）に、から拭きします。金属部分は腐食する可能性があるので、消毒後に水拭きします。



直接噴霧しない

注意

- × スプレー式ボトルで直接噴霧するのは、ウイルス拡散の可能性があるため、好ましくありません。また、消毒液を吸い込むことによる健康被害も懸念されます。
- ペーパータオル等に消毒液を含ませてから、拭き取るようにします。



ペーパータオル等に噴霧してから拭き取る

3 消毒場所

手指がよく触れる場所を消毒します。

居間・食事部屋	台所・トイレ	衣類・寝具
ドアノブ、窓の取っ手、照明スイッチ、ソファ、テーブル、イス、電話機（携帯電話を含む）、パソコンのキーボード・マウス、子どものおもちゃ、壁、床 など	蛇口レバー、洗面器、ドアノブ、窓の取っ手、照明スイッチ、排水溝、水洗便器と流水レバー、便座とフタ、汚物入れ、壁、床 など	通常の洗濯機での洗濯で問題ないといわれていますが、気になる場合は、熱湯消毒（80℃で10分以上）してから洗濯機にかけます。

店舗や事務所では窓口テーブル、ペン、老眼鏡、タッチパネルなども消毒しましょう。

4 消毒後の注意

消毒が完了したら、手をよく洗いましょう。

手荒れがあるとウイルスが残りやすいと言われていいますので、ハンドクリーム等で手荒れを防ぐことも重要です。

この消毒方法は、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザやノロウイルスにも有効です